平成27年6月
Vol. 26
発　行／名田島自治会連合会
編　集／自治会総務部会
印　刷／㈱山口県農協印刷

平成27年度 名田島自治会連合会総会

議長　伊藤 米秋さん

平成27年4月16日、名田島地域交流センター会議室に於いて、名田島自治会連合会の総会が開催されました。

総会構成員48名中47名（委任状提出者含む）の出席で成立宣言がなされ、民生委員児童委員協議会の伊藤米秋会長が議長に就任して、五議案全てが承認されました。

総会終了後、各部会を開催し、新年度事業を確認しました。

芝生の上で地区民体育大会 4/26

☆小学校校庭の芝生は、「しばもり隊」の皆さんがしっかり管理されています。

「一集落一事業」を推進し、集落の交流を図りましょう。（自治会より助成します）

会長就任にあたって

自治会連合会長　佐分利　隆

このたび伊藤前会長の後を受けて、図らずも会長の任に当たることになりましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

地区社協と協働で策定した「第二次名田島地区協働・福祉のまちづくり計画」は、早くも三年目、折返し点となりました。今年度はこの計画の中間評価を行い、広げすぎた感のある大風呂敷を畳んでいく方向で検討する年となります。

昨年度から始めた単位自治会の特色有る活動を支援する「一集落一事業」は二年目に入り、全集落に参加いただける方向で進めてまいりたいと考えております。

また、小学校グラウンドの芝生化は、昨年六月の植え付け作業で名田島のコミュニティとしての力強さを地区内外に示しました。その後もしばもり隊員の尽力により青々と繁茂することで、名田島地区の底力を示していると思います。

今年も、出来るだけ沢山の方に連合会活動に参画していただけるようにしたいと考えておりますので、お気づきの点やご要望、地域振興や情報発信のアイディア等がございましたら、遠慮なくお申し出くださいますようお願い申し上げます。

平成27年度 集落自治会長紹介

島上	赤松　稔
島下	作間　義弘
東開作	山根　義彦
向山上	有冨　賢吾
向山中	毛利山正行
向山下	品川　吉生
新開作東	藤山　光美
新開作西	秋本　安男
新開作沖	藤井　政雄
昭和東	山本　浩之
昭和西	山根　薫
西開作上	金子　和正
西開作下	河村　泰男

27年度新役員のみなさん

前列右から　松永　君子　佐分利　隆　河村　泰男　林　政雄
後列右から　作間　義弘　秋本　安男　山根　義彦　金子　和正

日々の努力の積み重ねに感謝
「地域の力」・安全を！

名田島地区防犯対策協議会
（山口県防犯連合会功労団体表彰）

名田島みまもり隊
（山口市交通安全対策協議会功労者表彰）

雨の日も風の日も見守ってくださって
ありがとうございます

名田島地域交流センター
あいさつ

所長　横沼　浩

名田島地域交流センターは、地区民体育大会やふるさとまつりなどの行事運営や名田島自治会連合会をはじめとする各種団体の地域づくり活動を支援する「地域担当」と、市のさまざまな手続きをお受けする「行政窓口」の二つの機能を持っています。

名田島の地域づくりの理念は、「次世代につながる田園都市の創造」です。

名田島で育った子どもたちが大人になったとき、自分たちの子どもをこの地で育てたいと思えるような地域を目指し、緑の大地と地区民のきずなを大切に守り引き継ごうという、名田島らしさがあらわれたすばらしい理念であると思います。

交流センターで働く私たちは、この理念実現のお役に立てるように、皆さんと一緒に惜しみなく汗をかける存在でありたいと考えています。気軽に足を運んでいただける交流センター、皆さんから信頼していただける交流センターを目指して職員一同頑張ってまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

交流センターのみなさん

平成26年度 一集落一事業の成果

物作り交流会(島上)

孫達といっしょに楽しんだよ

新春かるた大会(向山下)

昔を思い出し皆さん真剣

夏 祭 り(新開作沖)

いつの時代も祭りはいいね

バラによる集落環境美化(東開作)

きれいに咲いたよ

椹野川堤防の環境美化(西開作下)

見通しも良くなり 交通安全に貢献

伝統行事の継承(新開作東)

今年も元気に お参り出来たね

集落行事の伝承(新開作西)

代々引き継いでいこうね

地域事業支援事業(西開作上)

昔からの伝統守っていこうね

みんなの力が引き寄せた

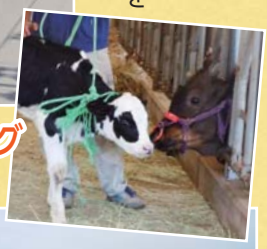
チャレンジデー2015 初勝利！

5/27

～名田島全体で837人参加ありがとうございました～

全集落参加のラジオ体操
(324人)

新開作・昭和を巡りました



ふるさと探訪ウォーキング
(50人)

おいしい空気をたくさん吸いました

暑かったけど新しい発見あったよ

名田島「たくみ」の技

名田島地区にも多くの「技」の持ち主がいらっしゃいますので紹介します。

ミツバチとともに

渡邊 紀明（のりあき） さん（向山下）

巣内の確認作業

渡邊ミニ蜂場

分蜂群の収容

大学でのミツバチ研究会への入会、北海道での養蜂実習以来40年余、蜜蜂と共にあります。

毎日1,000～1,500個の卵を産み続ける女王蜂と数万匹の働き蜂、そして少数の雄蜂とで構成されている蜜蜂の群れは、一匹だけでは決して生きていくことができず、数万匹の群れ全体が一つの生命のようなものです。

蜜蜂の集団生活、役割分担、生態は不思議がいっぱいです…

養蜂家の減少や一部農薬の影響が疑われる「蜂群崩壊症候群」などにより蜜蜂が少なくなり寂しい限りです。

いつまでもミツバチとともにと思っています。

栄養満点！ヘルシーケーキ

河村 悦子（えつこ）さん（西開作下）

20数年前に婦人会のシフォンケーキ作りに参加し、とても美味しく出来たので、「私でもケーキが作れるんだ」とビックリしました。

それからは、ケーキを作る楽しさ、食べてもらう喜びを感じています。

県産小麦粉と自家野菜を使ったお菓子でお茶しながら、「もう少しこうしたら？」、「こんなケーキは？」、「こんなお菓子作ったのよ」とか、色々なことをおしゃべり出来る仲間に助けられています。

今回のツール・ド・山口湾では、「名田島ケーキ」として提供し、おもてなしが出来ました。

出発点である講習会で親切にポイントを教えて下さった先輩に感謝の気持ちでいっぱいです。

多くの事柄を教えて下さる先輩や仲間のおかげです。

人参寒天

名田島ケーキ

GREEN PRINTING JFPI F-B10103
この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。